

犬のお散歩ワンポイントアドバイス

◆お散歩は愛犬とのコミュニケーションの場♪
名前を呼んで振り向いたり、アイコンタクトが取れたらおやつをあげたりして、愛犬との時間を楽しんで♪
「名前を呼んだら寄ってくる」ことを覚えさせることも、しつけとして効果的！



◆子犬の社会化期(生後1～3か月頃)に様々な刺激に触れさせることが大切。まだお散歩ができない時期は、抱っこで外に連れ出して車の音に慣れさせたり、家族以外の人に会わせることで、犬の社会性を育むことができます。

◆犬はこどもと同じように地面からの熱を感じやすいので、暑い季節の散歩は、日の出前や日が沈んだ後、影を歩くなどの工夫を。



◆「オスワリ、フセ」ひっぱり癖のある場合に覚えさせておくといいです。信号待ちや他の犬とすれ違う時、興奮した時などに落ち着かせるために使うと飼い主さんの負担軽減になります。



◆リードや首輪は、愛犬へ指示を伝えたり、交通事故防止のための必須アイテム！首輪は大人の指が2本入るぐらいの大きさをしっかりと締めましょう。散歩時のリードは短めに持ちましょう。

◆排泄物処理のマナー袋や水、暑い時期は愛犬の飲み水も忘れずに。



災害時や緊急時に備えて

犬はクレート、猫はケージなどに慣れさせておくと、もしもの時に安心！クレートの中でご飯をあげるなど、普段から生活の一部に取り入れることがおすすめです。

緊急時の預かり先を見つけておくことも大切です。預かり先によっては、狂犬病予防注射の接種証明が必要な場合もあるため、毎年必ず接種することも備えのひとつです。



猫と楽しく生活するために

猫の外飼いは交通事故や病気がうつる可能性があります。また糞尿などで近隣にも迷惑がかかります。



猫は不妊手術をして屋内飼育しましょう。
※猫については法律で定められていないため、登録の必要はありません



兵庫県動物愛護センター

(住所 尼崎市西昆陽 4-1-1)

猫の飼い方・ふれあい方を学んでもらうため、猫とのふれあいを行っています。

また、犬猫の新しい飼い主を募集。犬猫の飼い方相談なども行っています。

問合せ ☎ 06 - 6432 - 4599

▲詳細は動物愛護センターホームページ



動物を飼うという決断の覚悟



「終生飼養」という言葉をご存知ですか？
ペットがその命を終えるまで、責任を持ち飼育・飼育、お世話をすることです。
その動物が一生を終えるまで「飼い主自身が健康でいられるか」、「緊急時に頼れる人がいるか」、「何があっても飼い主として責任を取れるか」ということです。
動物を飼うということは、お金も時間も手間もかかります。それを十分に理解し、覚悟ができるか。飼い主の無知識によって動物が犠牲にならないために、しっかりと意識してください。

犬の「しつけ」の重要性

当センターには、飼えなくなった犬の相談や引取りがあります。飼えなくなる理由は、咬むなどの攻撃性やそれに伴い犬をコントロールできなくなったなど様々ですが、そうならないためにしつけが重要です。飼い主が知識や扱い方をしっかりと学ぶことで、愛犬との生活がより楽しく快適になります。それらを学ぶ場として、センターで実施している「しつけ教室」をお勧めしています。

飼い主のマナー

飼い主として、マナーを守ることも大切です。散歩の時には責任を持って排泄物の処理を。また、人の家の前や植え込み、公園の砂場などは避けるなど、場所にも配慮が必要です。犬をロングリードで遊ばせる場合は人の居ない広い場所で、人が来たら伸びないリードに変えてください。マナーを守って、ペットとの快適な暮らしを楽しんでください。

犬を飼ったらまず登録を！

犬を飼うときは、町への「登録(狂犬病予防法に基づく)」が義務付けられています。

狂犬病は、人間が感染し発症したら致死率はほぼ100%であるため、飼い主の義務として毎年必ず予防のための「狂犬病予防注射」を接種してください。登録者には、毎年3月末に接種案内通知を送ります。飼い犬が亡くなった場合も届出が必要です。

▶問合せ・登録手続き 農業環境課 ☎ 766 - 8709

編集後記

私自身も犬の飼い主の一人として、改めて意識し直すことや初めて知ることもあり、とても勉強になりました。ペットを飼う人もそうでない人も、心地よく暮らせる猪名川町になったら素敵だな...と思います。

お散歩時のワンポイントアドバイス、ぜひ参考にしてみてくださいね！

中津 めぐみ

福田 愛